

学校安全だより

～安心安全な学校生活を目指して～

第4号

令和5年10月20日

京都府立福知山高等学校・附属中学校

ネットトラブル

SNS を通じた誹謗中傷やいじめ・SNS への写真投稿による自宅住所の漏洩・SNS やアプリ、出会い系サイトを通じた犯罪被害・アプリ、ゲームによる高額請求・無線 LAN 接続による個人情報の流出・ワンクリック詐欺・ながらスマホなど…書き切れないほど、さまざまなトラブルがあります。

さて、上記にあげたトラブルの中で多く見られるのは # SNS によるトラブルです。



SNS とは

ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士の交流で、Web サイトの会員制サービスのことです。友人同士や、同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣地域の住民が集まったりと、ある程度閉ざされた世界にすることで、密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしています。

・LINE ・ Twitter ・ Instagram ・ TikTok ・ YouTube ・ Facebook ・ Snapchat … など

SNS のトラブル

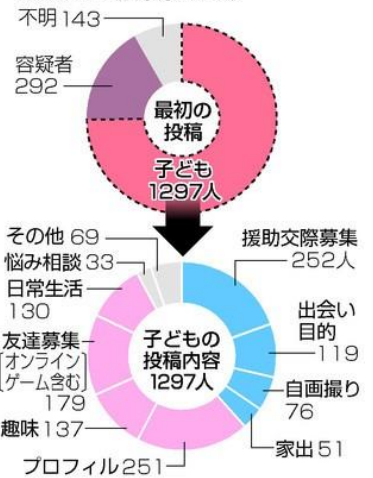
令和4年にSNSを利用して犯罪の被害に遭った18歳未満の子どもは、前年比4.4%減の**1,732人**だったことが警察庁のまとめで分かっています。全体では減少したものの、重要犯罪の被害は**前年比12.1%増の158人**と**過去最多**を更新しています。

全体の被害者のうち、**高校生は833人、中学生が718人、小学生が114人**でした。【<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023030900390&g=soc>】

SNS がきっかけで起こるトラブルが多いことが分かります。

また、右図から分かるようにトラブルに巻き込まれる前には、SNS での何気ない投稿から始まっているのが分かります。

SNS利用犯罪に遭った子どもの投稿内容 (警察庁まとめ)



1 インターネットを有効活用しましょう

世界中から情報が集まるので、ためになる知識もたくさんあります。上手に活用してみましょう。

2 SNSの利用は慎重に

書きこんだものは二度と消せません。「世界中の人から見られる」ことを意識して投稿しましょう。

3 「悪い人」がいることを忘れないで

ネットで知り合う人には、悪い人もいます。文章や写真だけでは、判断できません。実際に多くの事件が起きていることを知っておきましょう。



4 家族とルールを決めましょう

「あと1回だけ」「この返事だけ」とダラダラ使っていると、生活リズムが乱れたり、メディア依存になることも…。おうちの人と話し合ってルールを決めましょう。

気をつけて欲しいこと

現在、インターネットの普及により、新しい情報や調べたいこと、見たいもの、欲しいものをその場で購入できる…など、インターネットが身近にあります。とくに、人との繋がりをより深められる SNS を利用する人も少なくはないでしょう。

しかし、その中の情報は必ずしも正しいことばかりではありません。『デマ』もあります。誤った情報であなたも周囲の人も被害に合うことがあります。正しい情報か、確認をしましょう。

また、SNS での投稿は匿名であったとしても世界中の人が見えています。誰かを傷つける発言は人権侵害につながります。すぐに消したとしても、すぐには消えません。『デジタルタトゥー』といって、半永久に残ります。これが、今後の進路や就職にも影響することがあります。

実際、中高生のみなさんだけでなく、大人も使用しています。よりよく使用するには、一人一人が小さなことでも気をつけながら使用することを理解したうえで、有効利用をしましょう。



スマホ依存チェック! がついたら要注意!!

